

「ところで、きょうだいたち、あなたがたがあんなことをしてしまったのは、指導者たちと同様に無知のためであったと、私には分かっています。しかし、神は、すべての預言者の口を通して予告しておられたメシアの苦しみを、このようにして実現なされたのです。だから、自分の罪が拭い去られるように、悔い改めて立ち帰りなさい。こうして、主のもとから慰めの時が訪れ、主はあなたがたのために定めておられた、メシアであるイエスを遣わしてくださるのです。このイエスは、神が聖なる預言者たちの口を通して昔から語られた、万物が新しくなる時まで、天にとどまることになっています。（使徒3：17～21）

ペトロとヨハネがエルサレム神殿に上ると、「美しい門」と呼ばれた所で物乞いをしている、足の不自由な男と出会った。彼が施しを乞うと、ペトロは、「私には銀や金はないが、持っているものをあげよう。ナザレの人イエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい」と命じた。すると、彼は立ちあがり、踊り上がって、神を賛美しながら、二人と一緒に境内に入って行った。これを見た民衆は、卒倒しそうに驚き、二人に好奇の目を注ぎ、付きまとった。ペトロは驚く民衆に語った。自分の力や敬虔さによって、彼を歩かせたのではない。私たちの先祖の神は、その僕イエスに栄光をお与えになった。あなたがたはこのイエスを十字架につけて殺してしまったが、神はこの方を死者の中から復活させてくださった。私たちは、このことの証人である。死者の中から復活されたイエスの名による信仰が、あなたがたの前で、この人を完全に癒やしたのである、と。

ペトロは続いて、群がる民衆に向かって、主イエスが誰で、何をなされたかを下記のように説教している。あなたがたは聖なる命の導き手であるイエスを十字架で殺してしまったが、それは、最高法院の議員たちと同じように無知のためであったと、分かっている。しかし、神は預言者たちの口を通して予告していたメシアが受ける苦難と死を実現された。だから、自分の罪が拭い去られるように、悔い改めて神に立ち返りなさい。神のもとから慰めの時が訪れ、メシアであるイエスを遣わしてくださる。このイエスは預言者たちの口を通して語られた、万物が新しくなる時まで、天に留まられる。モーセは「あなたがたの神である主は、あなたがたの同胞の中から、私のような預言者をあなたがたのために立てられる。彼が語りかけることには、何でも聞き従え。この預言に聞き従わない者は皆、民の中から滅ぼし絶やされる」と語った。「私のような預言者」とは、神に立てられたイエスのことで、この方に信従せよと命じたのである。サムエルをはじめ預言者たちは皆、この日（今の教会の時）について、「あなたがたは預言者の子であり、神があなたがたの先祖と結ばれた契約の子です」と告げている。また、神はアブラハムに「地上のすべての氏族は、あなたの子孫によって祝福される」と言われた。神は、アブラハムの子孫で、神の僕であるイエスを復活させ、まず、あなたがたイスラエル人のもとに遣わしてくださった。復活されたイエスがあなたがたを祝福して、一人一人を悪から離れさせるためである。

ペトロは、預言者たちが語っていた通り、主イエスの十字架の死と復活と昇天によって、悪から離れる罪の赦しの祝福が与えられ、天に昇られた主イエスは終わりの日に再臨され、万物が新しくなる新天新地の時が来ると語っている。主イエスの名による救済史を見据えた壮大な説教である。